

令和7年度 第2回 大和高田市まち・ひと・しごと創生会議 議事要旨

開催日時	令和7年10月1日(水) 10:00~12:00
開催場所	大和高田市役所 5階 会議室(6・7)
出席者9名 (五十音順)	<p>池田 あゆ里 委員(公募市民)</p> <p>勝井 康晴 委員(大和高田商工会議所 専務理事)</p> <p>会 長 鶴谷 将彦 委員(奈良県立大学 地域創造学部 准教授)</p> <p>長野 美裕 委員(公募委員)</p> <p>副会長 増田 武雄 委員(大和高田市町総代連合会 会長)</p> <p>三宅 章仁 委員(大和高田公共職業安定所 所長)</p> <p>吉村 聖子 委員(連合奈良 副事務局長)</p> <p>奥 亮太 委員(副市長)</p> <p>安川 禎亮 委員(教育長)</p>
案 件	<p>1 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業の実施状況報告について</p> <p>2 施策評価について</p> <p>3 その他</p>
配布資料	<p>【資料1-1】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業について</p> <p>【資料1-2】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業 実施状況</p> <p>【資料2-1】令和7年度 施策評価について</p> <p>【資料2-2】令和7年度 施策評価</p> <p>【資料2-3】事務事業評価</p> <p>【資料2-4】調査表【「委員評価」「重要度」「満足度」】</p>

以下、議事要旨

**【案件1】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について**

(説明要旨)

国では、エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を通じた地方創生を図るため、令和5年11月に「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」(重点支援交付金)を創設するとともに、低所得世帯への支援のための「低所得世帯支援枠」を創設しています。この交付金を用いて令和6年度に実施した事業についてご意見等をいただきました。

(ご意見要旨)

○交付金の目的が生活者及び事業者支援であるが、今回は生活者支援が中心であったので、次回以降、機会があれば事業者への直接的な支援を行っていただきたい。

⇒ 臨時交付金のため、今後のことについては未確定ですが、同様の趣旨の交付金が国から提示された場合には、限度額や時期などを勘案し、より活用できる事業を検討していきたいと考えております。

○くらし応援ギフトカードの事業について有効的な活用の仕方であると思う。その中でふるさと納税を財源として一部活用しているが、なぜ活用しないといけなかったのか教えてほしい。またふるさと納税をしてくださった方々に、市民の満足度などを報告しても良いのではないかと思う。

⇒ 臨時交付金を限度額まで有効的に活用するにあたり、少し大きめのフレームで事業設計をいたしました。ふるさと納税の使途として「産業の活性化」を設けており、臨時交付金に加えて、頂きました寄附金を一部活用させていただき、本事業を行いました。

## 【案件2】施策評価について

(説明要旨)

まち・ひと・しごと創生会議(本会議)では、本市が目指すべき方向性を定めた「大和高田市まちづくりの指針」の改定時にもご意見を賜ったことから、本市で実施している各施策について、委員の皆様にご評価いただきたいこと、この施策評価の方法について委員の皆様にご提案、ご説明させていただきました。

## 【案件3】その他

第3回まち・ひと・しごと創生会議開催についてのご案内

(以上)